

「農泊インバウンド受入促進重点地域」各地域の取組のポイント(2次公募)

No	農政局	都道府県	市区町村	協議会名	地域における主なインバウンド向けコンテンツ	評価のポイント
1	本省	北海道	美唄市	一般社団法人ステイびばい	・日本最大級のスノーアクティビティが楽しめる美唄スノーランド ・安田侃彫刻美術館、アルテピアッツァ美唄を中心としたアート空間 ・日本でも有数の食品サンプルづくりが出来る体験館 ・美唄のソツウルフード、美唄やき鳥、美唄とりめし	美唄スノーランドはゴルフ場の冬期利用で、積雪の多い当地ならではの活用方法。タイや台湾、アジア圏の個人客をターゲットに旅行博出展や商談会に参加しておりインバウンド受入に積極的に取組んでいる。
2	東北	岩手県	遠野市	遠野ふるさと体験協議会	・「民話のふるさと遠野」 ・カッパをはじめとする民話や神楽等の郷土芸能 ・遠野産ホップのクラフトビールやジンギスカン、伝統料理	花巻空港から台湾の直行便があり、航空会社や花巻温泉郷との連携など広域での取組が計画されている。提携している農家民宿や農家レストラン、体験提供者は、農業従事者が多く、農泊での売り上げが所得向上に直結している。
3	東北	宮城県	蔵王町	蔵王農泊推進協議会	・春季は雪壁ウォーク、夏はお釜見学、秋は紅葉、冬季は樹氷ツアー ・キツネと触れ合える「キツネ村」 ・陶芸、染物、こけしの絵付けやチーズ作りなどの地域文化	・空き家を活用した戸建型宿泊施設を目標年次までに100軒まで増やし、AD認証の強みを活かす取組としている。 ハラルやベジタリアンへの食事にも配慮しており評価できる。
4	関東	山梨県	笛吹市	笛吹市農泊観光ツーリズム推進協議会	・世界農業遺産に認定された日本一の桃葡萄ワイン造り ・縄文遺跡の出土が多い、縄文文化や古墳文化の遺跡 ・地域の高齢者による食体験プログラム ・地域の伝統行事である「おみゆきまつり」	富士河口湖にインバウンドが集中しているなか、当該地域に訪れてもらう仕掛けづくり(世界農業遺産を紹介する体験ツアーやワイン造り体験など)が計画されている。既存のHPや予約フォームを多言語対応にするとともに地域通訳案内士と連携したプログラムを整備することとしている。
5	関東	静岡県	島田市川根本町	大井川農泊推進協議会	・大井川流域に多数の製茶工場、特色ある茶の生産 ・山間地茶園・牧之原大茶園の美しい茶園景観 ・大井川の水で多彩な農産物、駿河湾ではサクラエビ等の水産物	広範な農泊地域を有することから、東海道ガストロノミーツアーや駿河湾ガストロノミーツアーなど4つのテーマで地域資源を活かしたガストロノミーツアーなど具体的に提案されている。
6	北陸	石川県	志賀町	くまの地域づくり協議会	・薬草栽培の祖である村松兵左衛門、薬草を取り入れた生活文化 ・野草と発酵が生かされた健康的な食事 ・千里浜や名勝蔵門サイクリング、農村文化と地域住民との交流	目標設定に能登信用金庫の経営アドバイスを受けており根拠が明確である。アジア圏と欧米からの個人客をターゲットとし「里山＋古民家へ能登の文化」を打ち出すことが計画されている。
7	北陸	石川県	七尾市	大呑地域農泊推進協議会	・寒鰯、水見鰯で有名な鰯の産地 ・鰯を使用した巻鰯という特産品や朝とれ魚を飲食店で提供 ・「能登の里山里海」は世界農業遺産に認定	能登の里山里海など豊かな地域資源を活かすことはResponsible Travellerとの親和性が高い。里地里海の保全や景観保持、農業・漁業の生業継続に繋がる仕組みづくりがインバウンドにも評価されると考えられる。

「農泊インバウンド受入促進重点地域」各地域の取組のポイント(2次公募)

No	農政局	都道府県	市区町村	協議会名	地域における主なインバウンド向けコンテンツ	評価のポイント
8	中四	岡山県	瀬戸内市	せとうち牛窓玉津農泊推進協議会	・備前長船刀剣博物館にて、英国人学芸員による館内解説ツアー ・日本刀古式鍛錬の様子や現代刀の職人が常駐する工房 ・「刀剣の里」に隣接する足利尊氏の伝説や「靱負神社」	宿泊施設は海外OTAに登録されており、宿泊・食事・体験において英語やフランス語での対応が可能。 地域特有資源をのインバウンド向け体験として提供している。
9	中四	山口県	萩市	萩市ふるさとツーリズム推進協議会	・農漁村や城下町で萩古来の暮らし体験 ・瓦そばや押し寿司といったホームメイドな郷土料理を囲んで交流 ・着付けや神楽、学校訪問など、オリジナルの体験コンテンツ	インバウンド率の実績・比率とも高く、欧米豪諸国のグループから個人客の受入を行っている。 ホームステイ型の宿泊で自家栽培の農産物や地元食材の提供しており、農泊に関わる農林漁家の所得向上に繋がる取組となっている。
10	九州	福岡県	八女市	八女福島農泊推進協議会	・八女茶および古民家での宿泊、客室内での八女茶や朝食体験 ・久留米餅や八女提灯、和紙等の伝統工芸 ・宿のスタッフをはじめ八女住民との交流	Creft inn te が実施するアートツーリズム(手仕事を巡るツアー)が好調でアメリカ、イギリスのエージェントから定期的な送客を見込むことができる。 古民家の宿泊施設や八女茶の活用など農山漁村ならではの地域資源を活かしている。
11	九州	長崎県	島原市	島原市新農泊推進協議会	・キリシタンの歴史資源、自然資源、食の資源、豊かな人材資源 ・古き日本の良き姿や「ありのまま」の日本文化や日本食 ・城下町の武家屋敷、古民家利用カフェ・レストランや宿 ・海山川でアウトドア体験や雲仙温泉	キリシタンの歴史などの地域特有の売りがある。 課題を浮き彫りにし、各課題に対する対応策がしっかり検されている。宿泊単価は利用形態に応じ日帰りから長期滞在型まで幅広い価格帯を設定し、長期滞在を促す取組が計画されている。
12	沖縄	沖縄県	大宜味村	おおぎみまるとツーリズム推進協議会	・ブルーゾーン(世界五大長寿地域)である ・村の長寿の秘訣が総発行部数500万部を超えるベストセラー ・住民との交流や農業などから長寿の秘訣を体感 ・生活スタイルを体験できる「民泊・長寿コンテンツ商品」	ブルーゾーン(世界五大長寿地域)として着目される大宜味村として、「長寿」を売りに他地域と差別化を図りながらインバウンドの受け入れを推進する取組が計画されている。